

地域で支えあう福祉のまち・こだいら  
第三次小平市地域福祉活動計画について

この度、四月一日から小平市社会福祉協議会の事務局長として多くの住民の皆様や、協力員の皆様と一緒に地域福祉の実現に向けて、その職務の一端を担わせていただけました。就任してまだわずかな期間ではございますが、黎明会の皆様をはじめ、市内の多くの福祉施設等の皆様のお力添えをいただきながら業務を進めております。まずもって地域での連携の大切さを実感しているところでございます。

小平市社会福祉協議会では、本年三月、これからの中間を、見



社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

### 事務局長 金子惠一

地域で支えあう福祉のまち・こだいら  
第三次小平市地域福祉活動計画について

行 發 人	編集人
会	明
小平市	小平市
〒187-0032 東京都小川町1-485	
電話 042-346-6611	
http://www.reimeikai.or.jp/index.html	

据えた「第三次小平市地域福祉活動計画」を策定し、四月からこの計画を基に、地域を支える多くの皆様と一緒に諸事業を進行してまいりました。

ご案内のように、国をはじめ公におきましては、少子高齢化時代の中にあります、高齢者保健福祉・介護保険制度、次世代育成のための制度、障害者自立支援法などの制度改革等が図られております。さまざま議論がなされますが、種々の支援制度の仕組みが形作られております。しかし、地域の福祉は、このようない公による福祉サービスだけです。

年三月、これからの中間を、見

は、必ずしも生活課題が解決されない場合も見られます。もちろん、本人や家族による生活課題に対する克服活動も大切ですが、重要な要素の一つに「地域で住民同士、また仲間同士がお互いに助け合い、支えあうこと」で地域福祉全体が成り立つ」ということがあります。

今回の計画は、このような考え方に基づいて、策定をいたしました。ご案内のように、社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」で、多くの皆様と一緒にさまざまな生活課題を取り組み、支えあうことが本旨であります。のことから、この計画づくりに際しましては、住民の皆様から寄せられました「地域福祉の充実のために何が大切なのか」また、「地域での助け合い活動の充実のためには、何が求められているのか」などの貴重なご意見を踏まえまして、計画の基本となる目標を「地域で支えあう福祉のまち・こだいら」といたしました。さらに、具体的に計画の実現に向けては、事業実施のベースになります重点目標を、①地域における住民相互の助け合い活動の展開②安全で安心できるまちづくりの推進③日常生活を支援するサービスの充実④地域での相談・支援の中核を担つていただいてお

ります民生委員・児童委員の皆様等との連携をさらに密にしての相談体制の充実と、福祉に関する情報のさまざまな媒体を通じての積極的な提供⑤福祉学習等の促進や、福祉の専門的な人材の確保⑥地域福祉を推進するために、住民の皆様へのPRや主体的な参加を促進し、小平市や民生委員・児童委員、各種団体等の皆様との連携を深めて小平市社会福祉協議会の組織強化を図る基礎づくり。の六つを掲げました。いずれも地域福祉の実現に向けて、住民の皆様と一緒に考えた重要な目標です。

社会福祉協議会は、社会福祉法で定められた「地域福祉を行う団体」ではありますが、この計画を策定するための「第三次小平市地域福祉活動計画策定委員会」で議論を重ねた中では、この計画を「社会福祉協議会自身の活動計画」としてだけではなく、「社会福祉協議会を中心とした地域の各種民間団体等の活動の方向性の指針となる計画」としても存在すべきものもある」との議論がなされました。しかし、そのことによつて、それぞれ、すでにご努力をされておられますさまざまな団体や、皆様の活動に枠をはめるものであつてはならないことは、言うまでもありません。

これらの議論を踏まえ、「社会

福祉協議会を中心とした地域の各種民間団体等の活動の方向性の指針となる計画」としてこの計画を位置づけました。これからは、市民のあらゆる福祉団体や住民の皆様がこの計画の趣旨をご理解いただき、それぞれの活動を開拓することできます。さまざまな活動が有機的に結ばれ、重点目標の実現は勿論のこと、小平における地域福祉がより一層充実することを願っております。そこで、まず小平市社会福祉協議会が進めなければならない仕事の一つが、この計画の内容や考え方を住民の皆様をはじめ多くの皆様にPRすることです。

同時に、今までのお近くでの支えあいの活動を、さらに積み上げていくことで、より一層この計画が確実に推進できるのではないかと考えております。

「人間性の尊重、社会参加と自立・自己実現の推進」、「ノーマライゼーションの理念の実現」、「住民主体による福祉のまちづくり」、「利用者の権利をまもる仕組みづくり」がこの計画の理念です。地域ならではの特性を生かしながら、今まで同様、また今まで以上に、地域で支えあいながら福祉のまち、私たちのまちこだいらを作つていきましょう。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 日本キュー・バ科学・

### 技術交流委員会に参加して

キュー・バの医療事情〈その二〉 田中 健彦

広さは日本の3分の1、人口は11分の1、大西洋カリブ海に浮かぶ島国キューバの医療事情などもう少し、既報と一部重なるが、お伝えしたい。

医師・看護師数 今年はキューバ革命50周年。当時の医師数はわずか六千二百八十六人、多くは大都市で診療に従事、しかもその半数は革命とともに亡命したという。だが今(2007年)では七万一千四百十六人、人口千当り6.5人、海外協力に携わる医師も含むとはいえ、日本2.1人や米国2.4人(2006年)を遥かに凌ぐまでになっている。看護師数は9.4万人、人口千当り8.7人で日本9.3人や米国10.5人(2006年)と変わらない。

基本的医療システム およそ3層からなる。国が重視するプライマリーケアを実践するべく、医師の48%を占める家庭医は、全国に限なく配備された1.4万か所のコンスルトリオ(家庭医診療所)を拠点に、地域に住みつつ看護師とともに百数十家族、数百人の住民を担当、聴診器、血圧計など基本的

診療用具のみで内科、小児科等の診療、在宅医療のほか、健康管理、妊婦検診、ワクチン接種、リハビリ指導、栄養(野菜を多く、油を少なく)や禁煙指導など保健所の機能も果たす。また年に1度は病気の有無によらず全受け持ち住民を訪問し健康状態等を把握、記録する。助手・ケースワーカーが常駐し、小児科、産科、内科医、心理学者、ソーシャルワーカーもサポートする。日本の「かかりつけ医」に近いがより組織的だ。その上位のボリクリニコ(総合診療所)はコンスルトリオ30か所に1か所程度、全国で500弱、全科を備え、X線、血液検査、超音波装置、脳波計、心電計等を整備している。主にコンスルトリオからの紹介患者を診療、救急にも常時対応する。一時的応急入院は受けるものの外来診療が基本。入院はさらに上位学付属病院が担当する。

医療保健の現況 乳児死亡率は生産千人当り7人(日本5人、米国8人)、平均寿命も60歳以下から

2006年78歳(日本82歳、米国78歳)と先進国と肩を並べる。かつて疾病は感染症が中心であったが予防プログラムにより非感染性疾患が残り、死因で見ると第1位の心疾患以下、悪性腫瘍、脳血管疾患、肺炎等、事故、慢性呼吸器疾患が続き、先進国のパターンとなっている。自殺率は2005年10万人対12.1人(2006年日本23.7人、2005年米国11人)、こと妊娠検診、ワクチン接種、リハビリ指導、栄養(野菜を多く、油を少なく)や禁煙指導など保健所の機能も果たす。また年に1度は病気の有無によらず全受け持ち住民を訪問し健康状態等を把握、記録する。助手・ケースワーカーが常駐し、小児科、産科、内科医、心理学者、ソーシャルワーカーもサポートする。日本の「かかりつけ医」に近いがより組織的だ。その上位のボリクリニコ(総合診療所)はコンスルトリオ30か所に1か所程度、全国で500弱、全科を備え、X線、血液検査、超音波装置、脳波計、心電計等を整備している。主にコンスルトリオからの紹介患者を診療、救急にも常時対応する。一時的応急入院は受けるものの外来診療が基本。入院はさらに上位学付属病院が担当する。

医学教育研修 大学は6年制、1年次からボリクリニコで実践的に学習。卒後は3年間小児科、産婦人科、内科を中心とした家庭医としての研修を必修とし、ついで家庭医または他科専門医の研修コース

に入る。

**医師のモラル** 給与は一般に比べれば良いとはいえる月二千円ほどという。食糧や日常品などの物価は極めて安いがマイカー、海外旅行には到底手が届かない。それでも医師志望者は絶えないという。人々の役に立ちたい、世界に貢献したいという志とそれを支える人々の眼差しがある。

(次号へ続く)

## 研修報告

### 一、のぞみ作業所

次長 酒井文哉

さる、平成21年5月30日(土)と6月6日(土)の2日間、(株)エイデル研究所 村松博氏による

とても身になる研修を受けました。

組織マネジメントの基本に始まり、OJTによる職員指導まで幅広い内容での研修でした。

1回目は、基本中の基本を学び、グループによる討議や意見交換など普段ではできない、議論をし、他事業所の管理職の思いや志を感じた1日でした。

2回目は、組織内における職員指導やスーパーバイジョンの在り方、

職員との面接の行い方など、基本的な事項を学び、決められたグル

ープ内で、特に指導が必要な職員の事例をあげ、面接の方法や指導の行い方等を、グループ内のメンバー全員の意見を聴くなどして、どのように方向性を打ち出し、指導していく事が大事であるかを一人ひとりが再確認し、学べたのではないかと思います。

今回の研修の内容を職場に持ち帰り有効に実践していきたいと考えています。管理職としては、まだまだ勉強が必要でこれからだと思いますが、黎明会の一職員として大いに頑張りたいと思います。また、人を育てていく立場になり、自分自身も多いに成長し、黎明会にとって必要な「人財」になります。より良いサービスの提供ができるよう、日々精進したいです。最後になりますが、「じんざい」という言葉には3つの漢字があります。

一つ目は、「人在」これは組織にただいるだけの人。二つ目は、「人材」これは組織にとって成長可能な人。

三つ目は、「人財」これは組織にとって宝であり、財産である人。この三つ目の「じんざい」を育っていくことも、私の大事な仕事であると強く思います。

### 二、澄水園

庶務係長 斎藤幸代

係長研修は3回にわたり実施され、今回のステップⅢが最終回で「健全なチーム作り」というのがテーマでした。

始めに講師の先生より、チーム《集団》と個人の関係についての説明がありました。個人の時には

それそれが違った考え方を持つていたとしても、集団になると徐々にその集団特有の制度や仕組み、習わしといつた行動基準が生まれ、

皆それに沿って動く様になる。その基準を変えていく場合、よほど強い方向性や目標を持ち進めていかなければ変化することは難しい。

そこでチームを作る上で必要なチームワークとは、全員が同じ様な考え方、方向、目標に向かって動いていくことを指しているというこ

とでした。

そのことを踏まえて、自分が考

える「黎明会として求めるチームワークの姿」について書き出し、その後違う施設や職種の人達が集まつたグループでそれぞれ意見を出し合い、まとめて発表をしました。次に自分たちでまとめた「チー

ム内で付箋に書かれた内容を同じもの同士にまとめ、グループでの意見として発表しました。

休憩を挟み、自分が現在所属している部署のチームワーク診断を行い、実際に何が課題なのかを掘り下げ、考えられる課題をクリアしていくための推進策をたてグループ内で発表しました。

最後に行動定着させるためのサイクルについての説明の中で、計画をたて実行に移した後は必ず定期的に確認・評価をして計画の見直しをすることが必要である。ま

た、それらを継続していくことが、そのチーム《組織》の制度や仕組となり定着していくとのお話があ

りました。

今回の研修では、違う仕事内容を持つ者同士でグループを作り意見をまとめていく作業を行いましたが、求める姿や課題はほとんど共通していました。

また、課題をクリアしていくためには定期的に現状を見直し調整すること、そして継続することがチームワークを作り継続するための大切なポイントであることを学びました。



## 「北海道浦河町、

### べてるまつりに参加して」

あかつき 古山雅子

私は、平成21年6月26日～27日に北海道浦河町で行われた、第17回べてるまつりに参加しました。今回の研修は、多摩地区の障害者施設十団体ほどで組織されている多摩福祉会議のメンバーから、べてるまつりを見に行ってみたい、という声があがり、企画されたものでした。

多摩福祉会議では、昨年度の研修会で、べてるの家のソーシャルワーカー向谷地先生をはじめ、当事者の方々数名に、講演をしていただきました。私は、その講演が分のことを話している姿を見て、今回直接浦河町で、町の雰囲気を感じながらべてるまつりに参加できる機会をいただき、とても楽しみに研修の日を迎えるました。

研修1日目は、精神科医の香山リカ先生による講演『精神科医といふ仕事』その悩みと喜び』を聞き、その後、当事者研究全国交流集会に参加しました。「当事者研究」とは、精神障害を抱える当

事者の日々の生活の中から生まれた自助のプログラムのことです。当事者研究の考え方、「自分自身で、ともに」が基本になっています。当事者の方が、自分自身の病気や経験、症状出現時の対処法などを、仲間や支援者、家族と連携しながら研究しています。今回で

6回目を迎える当事者研究全国交流集会ですが、当事者研究はべてるで生まれて、今では全国的に活動が広がっています。

分科会では、4つのテーマに分かれ、計16グループの発表が行われました。発表は、パワーポイントを使って、図や写真を取り入れてわかりやすくなっています。会場全体をどっと笑いに持っていくようなユニークな人もいました。全体会では、各グループの研究発表者や、司会を務めた方がそれぞれ感想などを述べていました。

研修2日目は、べてるの家の社会資源見学をし、シンポジウム、また、べてるまつりの目玉とも言える幻覚妄想大会に参加しました。社会資源見学では、べてる発祥の

場所であり、現在もグループホームとしてメンバーの方々が生活している教会を見ることができました。そこでは、実際にそこで生活しているメンバーの方から直接お話しを聞くことができました。

シンポジウムは、ちょうどべてるまつりに合わせてリニューアルオープンした「カフェぶらぶら」の、改築に至るまでの経緯などを、建築家や左官さん4名を交えてトークセッションの形で行われました。

カフェぶらぶらは、人にも環境にもやさしいお店として町づくりのひとつになっています。改築には、ストローベイルという藁を積み土を塗る建築方法が取り入れられ、改築作業はべてるのメンバーはじめ、地域の方々も参加して行われたとのことです。

幻覚妄想大会は、べてるのメンバーが体験したユニークな幻覚、妄想エピソードが発表され、その持ち主を表彰するという形で行われました。どのエピソードもとてもおもしろく、会場全体がずっと笑いに包まれているのが印象的でした。べてるの理念のひとつである「にもかかわらず笑うこと」をここでも感じることができました。

今回の研修では、つながらない笑いが大きなキーワードになりました。それは、数あるべててるの理念の中でも、一番基礎に



〈交流集会のようす〉

なっている部分なのだと思います。当事者研究は、研究というツールを使って、さまざまな人と豊かなつながりを生み出すことができます。また、講演やシンポジウムの中で、何度も「環境問題」という言葉が使われていて、その中には「心の環境」も含まれるのだそうです。人と自然、人と社会、人と人がつながる場所として、カフェぶらぶらはその象徴と言えます。2日間という短い間でしたが、当事者の方々が語られた言葉や、べてるに流れている温かな雰囲気、笑いの空気は、とても心に残るものでした。日々の支援の中で、どうしても自分の視点が偏りがちになったり、行き詰まつたりしたときには、この研修で学んだたくさん言葉の中にヒントがあることを思い出しながら、また毎日を過ごしていけたらと思っています。

## イキイキ地域生活度を

### アップしよう

(高齢者向けマシントレーニング教室)

けやきの郷 施設長 高橋源次

今年度の法人本部及びけやきの

郷の事業計画で予定した、けやきの郷のリハビリテーション設備の地域開放事業について、次のとおり実施内容を決定したのでお知らせします。

連携を深めるのが目的です。

また、この教室では、(社)日本理学療法士協会で開発された評価方法を使用して、参加者のマシントレーニングによる改善状況を

評価します。

◎日 程	◎時 間	◎対象者	◎募集人数	◎費 用
第1回 10月9日～11月27日 毎週金曜日全8回	午後4時30分～ 約1時間	65歳以上で医師から運動を止められない小平市民	各回5名	無料
第2回 1月8日～2月26日				

この事業は、近隣の自治会の要望などにより計画したもので、けやきの郷のリハビリテーション設備を活用してマシントレーニング体験を行い、在宅高齢者の介護予防を進めていくとともに地域との

ふれあい短信

## 粘土の魅力を伝えたい

澄水園 ボランティア 小野坂睦

「土もの」と言われる「陶器」には、素朴さ、あたたかさ、力強さがあり、それだけではなく、やわらかい土の風合いや、作者や職人の個性や気持ちが出やすく、そこはかとない「艶っぽさ」があります。

粘土は素直に我慢強く作者が望むままにその姿を変えます。そして時として作者が傲慢に扱うところや割れとなつて現れます。まるで人と人との関わりのよう：気の置けない友達のよう…それでも『親しき仲にも礼儀あり』、傲慢に甘えてばかりだとビシッと叱ってくれます。ちゃんと粘土の声を聞かちゃんと粘土と話をすれば、かなりの我が儘も聞いてくれるパートナーだと思います。そう思うようになったのはいつ頃からでしょう。

自己紹介が遅くなりましたが、この教室は、けやきの郷では、初めての試みですが、今回の参加者の「イキイキ地域生活度」の評価や意見を参考にして、次の実施に向けた課題などを整理していくと思います。

この教室は、けやきの郷では、4月から陶芸の講師として澄水園にお世話になっております小野坂と申します。学生の頃より粘土の魅力に取り憑かれ、陶芸の道一本をひたすら歩いて参りました。故に外見も内面も他の社会を知らない世間知らずのアウトロー、よく言います。

そんな事をボリシーや利用者の皆さまと世界に一つの作品を見た目も機能性も備えた魅力的な作品を作っていくたいと思つております。どうぞよろしくお願ひ致します。

えば個性的、スタッフや利用者の皆さまには、きっと驚いた方、呆れた方もいる事でしょう。

## お米「ふっくりんこ」寄贈

東京善意銀行様を通じ、北海道きたそらち農業協同組合様、北海道深川市長様より、お米「ふっくりんこ」100キログラムを寄贈頂きました。皆様が丹精込めて作られたお米は、とても甘味と色艶に優れ、利用者の皆様が感謝しない誠にありがとうございました。

(折田)

## 改修工事の竣工について

澄水園

副施設長 中村信市

黎明会だより一〇五号でお知らせした改修工事も7月末をもって無事故で完了することが出来ました。近隣の方々、関係施設の皆様には何かとご協力頂き、ありがとうございました。

改修工事の目指すところは、ご高齢の方々にも安全で快適な環境を提供することでした。1月より始まつた工事も終了してみれば全て生活がしやすい環境となりました。7ヵ月間の工期でしたが、利用者の皆さんには、環境の悪い中、よく頑張っていただいたと思つております。期間中、騒音や生活空間が狭いことにより、「早く引越



しをしたいよ」という言葉を耳にしましたが、私どもには騒音等の発生を抑える手だても無いので、工事の日を前もって業者に聞いて、マイクロバスでドライブに行く等、配慮をしてきました。何よりも各階毎に工事しておりますので、利用空間が狭かつたことが一番辛かつたのではないでしょうか。

おかげさまで、当初に計画した工事内容（以下①畳の部屋をベッド化し、4人部屋を3人部屋にしたこと。②2つあった浴室の壁を抜き大きな浴槽と機械浴槽を設置したこと等）は全て実現いたしました。そして、完成した後利用者の顔が忘れられません。自分の部屋及びベッドの位置が決まり、多くの利用者が手を引いて自分の部屋に案内してくれました。そして、最初にお風呂に入った日、まるで旅行に行き、温泉にでも入っているかの様にうれしそうな顔をしていました。

改修工事の目指すところは、ご高齢の方々にも安全で快適な環境を提供することでした。1月より始まつた工事も終了してみれば全て生活がしやすい環境となりました。7ヵ月間の工期でしたが、利用者の皆さんには、環境の悪い中、よく頑張っていただいたと思つております。期間中、騒音や生活空間が狭いことにより、「早く引越

## ◆南台病院復職支援研修のご案内

この研修は、離職中の看護職の再就業支援のために、東京都看護協会・ナースプラザのバックアップのもと、当院が地域の拠点病院として実施するものです。久しぶりの臨床での戸惑いや不安を少しでも軽減でき、新しい出発ができるよう、私たちが仲間として応援します。どうぞお気軽にご参加ください。

### ○研修日時

#### 【第1回目】

平成21年10月15日から10月23日

#### 【第2回目】

平成21年12月9日から12月17日

#### 【第3回目】

平成22年3月4日から3月12日 時間は、いずれも9時30分から16時まで

夜間の火災を想定した総合防災訓練のため、夜勤者5名のスタッフでは初期消火・救助など困難な状況があるため、法人内各施設と東小川橋防災連からの応援を得ての訓練となりました。

今回は、自衛消防審査会に出場した黎明会メンバーもダミー人形を使った救助訓練、消防署による救助訓練も同時に実行され、臨場感溢れる緊迫した訓練となりました。また、特養さくら野杜の木崎施設長も地域との防災協定の実際を確認したいと見学されていました。

訓練後の消防署よりの講評では、利用者の安全確保を第一に、初期消火に全力を尽くす、自衛消防本部設置で、情報の一括管理を行う、入居者へ動搖を与えない館内放送の活用、雨天を想定した避難方法等、改善を要する指導内容が上げられました。

## ◆秋の総合防災訓練を行います

秋季総合防災訓練は、東小川橋防災連との防災協定が、どの様に生きているかを小平消防署の検証を受けながら、やすらぎの園を会場に実施しました。

防災週間中の9月10日、黎明会在離職中で就業先が決まっていない方

○対象

看護師、准看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有し、現在離職中で就業先が決まっていない方

○お問い合わせ先

〒187-0032 小平市小川町1-485  
電話 042(341)7111  
FAX 042(341)9800  
南台病院 看護部担当者 逢坂

今後も利用者の安全・安心な生活が過ごせるよう防災活動に生かして参ります。

(太田)

## 施設リポート

### ◆役員の交替

◆新任	理事	大給	9月17日付
◆退任	評議員	海上玲子	9月16日付
評議員	理事	田中健彦	9月16日付

### ◆人事異動

◆新任	南台病院	院長	山田克浩	7月16日付
◆退職	おがわ訪問看護ステーション	所長	小野弘子	8月1日付

◆新任	南台病院	院長	田中健彦	7月15日付
◆退職	おがわ訪問看護ステーション	所長	小野弘子	4月30日付

### ◆平成21年度第1回 理事会・評議員会

◆平成21年度第1回	理事会・評議員会	平成21年5月28日14時から戸山サンライズにおいて、平成21年度第1回理事会・評議員会を開催しました。
------------	----------	--

◆おがわ訪問看護ステーション  
開設にあたって  
6月1日に、みなみだい訪問看護ステーションは小川駅から歩いて10分のところにあります。南台病院からは少し離れた場所にあります。おがわ訪問看護ステーションは小川駅から歩いて10分のところにあります。南台病院からは少し離れた場所にあります。おがわ訪問看護ステーションと力をあわせ、介護を必要とする皆様の支援をしていく必要があります。努力をしたいと思います。訪問リハビリ、精神科の訪問など、地域のニーズに沿った訪問看護を提供していくよう努めてまいります。一からのスタートで分からぬことがあります。今後とも宜しくご指導下さい。どうお願い申し上げます。(所長 小野弘子)

護ステーションの一員としてスタートして以来、2ヶ月が経ち、8月1日に東京都より、おがわ訪問看護ステーションとして指定を受けられることができました。この2ヶ月間、開設にむけて設備面や、東京都に提出する書類等、詳細にわたり皆様にご尽力をいただき、深く感謝しております。おがわ訪問看護ステーションは小川駅から歩いて10分のところにあります。南台病院からは少し離れた場所にあります。おがわ訪問看護ステーションと力をあわせ、介護を必要とする皆様の支援をしていく必要があります。努力をしたいと思います。訪問リハビリ、精神科の訪問など、地域のニーズに沿った訪問看護を提供していくよう努めてまいります。一からのスタートで分からぬことがあります。今後とも宜しくご指導下さい。どうお願い申し上げます。(所長 小野弘子)

護ステーションの一員としてスタートして以来、2ヶ月が経ち、8月1日に東京都より、おがわ訪問看護ステーションとして指定を受けられることができました。この2ヶ月間、開設にむけて設備面や、東京都に提出する書類等、詳細にわたり皆様にご尽力をいただき、深く感謝しております。おがわ訪問看護ステーションは小川駅から歩いて10分のところにあります。南台病院からは少し離れた場所にあります。おがわ訪問看護ステーションと力をあわせ、介護を必要とする皆様の支援をしていく必要があります。努力をしたいと思います。訪問リハビリ、精神科の訪問など、地域のニーズに沿った訪問看護を提供していくよう努めてまいります。一からのスタートで分からぬことがあります。今後とも宜しくご指導下さい。どうお願い申し上げます。(所長 小野弘子)

ら、更にたこ焼きや、いなり寿司等でお祭りの食事を演出しました。今年は天候にあまり恵まれませんでしたが、昔懐かしい祭りが再現でき、利用者の方々に大変喜んでいただけたようでした。

(鈴木)  
◆やすらぎの園納涼会  
天候に恵まれた7月19日夕刻、やすらぎの園入所の納涼会を行いました。家族を交え、3階屋上を会場にいました。

◆やすらぎの園納涼会  
天候に恵まれた7月19日夕刻、やすらぎの園入所の納涼会を行いました。家族を交え、3階屋上を会場にいました。

◆やすらぎの園ナイトコンサート  
天候に恵まれた7月26日夕刻、やすらぎの園入所のナイトコンサートを行いました。

(鈴木)

ボランティアの共同作業で製作した作品です。絵画、イラスト、書道、陶芸に加え8月1日土曜日に「灯りまつり」に出品する灯ろうも何点かあります。

保護者の方々及び関係者のご協力を得て、好評の内に終了いたしました。ご来場、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

◆施設黎明寮では、以前は近隣のお寺まで行き、「慰靈祭」を行っておりましたが、利用者の高齢化に伴い参加が困難な方も増えたため、3年前から施設内で「偲ぶ会」として故人を偲んでいます。今回で3回目ということもあり、行事として定着し、利用者も大勢参加して下さいました。

(施設長 中島)

◆施設黎明寮に於きまして、偲ぶ会を行いました。

(施設長 中島)

◆施設黎明寮では、以前は近隣のお寺まで行き、「慰靈祭」を行っておりましたが、利用者の高齢化に伴い参加が困難な方も増えたため、3年前から施設内で「偲ぶ会」として故人を偲んでいます。今回で3回目ということもあり、行事として定着し、利用者も大勢参加して下さいました。

(施設長 中島)

◆やすらぎの園ナイトコンサート  
天候に恵まれた7月26日夕刻、やすらぎの園入所のナイトコンサートを行いました。家族を交え、3階屋上を会場にいました。

(古藤)

◆第4回のぞみ作品展  
知的障がい者援護施設(通所授産)「のぞみ作業所」では、7月16日から21日までの一週間、小川駅近くの「NMCギャラリー」で作品展を開催しました。

作品は、毎月2回土曜日に実施しているクラブ活動で、利用者、

◆おがわ訪問看護ステーション  
開設にあたつて  
6月1日に、みなみだい訪問看護ステーションは小川駅から歩いて10分のところにあります。南台病院からは少し離れた場所にあります。おがわ訪問看護ステーションと力をあわせ、介護を必要とする皆様の支援をしていく必要があります。努力をしたいと思います。訪問リハビリ、精神科の訪問など、地域のニーズに沿った訪問看護を提供していくよう努めてまいります。一からのスタートで分からぬことがあります。今後とも宜しくご指導下さい。どうお願い申し上げます。(所長 小野弘子)

◆第4回のぞみ作品展  
知的障がい者援護施設(通所授産)「のぞみ作業所」では、7月16日から21日までの一週間、小川駅近くの「NMCギャラリー」で作品展を開催しました。

作品は、毎月2回土曜日に実施しているクラブ活動で、利用者、

(鈴木)

◆第4回のぞみ作品展  
知的障がい者援護施設(通所授産)「のぞみ作業所」では、7月16日から21日までの一週間、小川駅近くの「NMCギャラリー」で作品展を開催しました。

作品は、毎月2回土曜日に実施しているクラブ活動で、利用者、

(鈴木)

ありがとうございました

寄贈者ご芳名(順不同)

平成21年7・8・9月

☆金員  
中丸完治様\*小川和夫様  
\*澄水園保護者会様\*松本弘子様

☆物品  
ケアブレイン様\*東京福  
祉様\*他匿名2件

## 行事予定

10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月
芋保護者会 (24)	澄水園 (24)	煮会 (10)	秋祭り (18)	交流会 クリエーション大会 (22)	黎寮 (10)	秋祭り (18)	中丸完治様*小川和夫様 *澄水園保護者会様*松本弘子様	黎寮 (10)
会懇談会 (24)	喫茶オアシス会 (21)	喫茶オアシス会 (11)	一泊旅行 (15)	一泊旅行 (千葉方面) クリスマス会 (10)	一泊旅行 (山梨方面) クリスマス会 (10)	一泊旅行 地元出張販売 (16)	ケアブレイン様*東京福 祉様*他匿名2件	内は日付 (11・12月)
10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月
10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月

入居者募集 「熱海ゆとりあの郷」
有料老人ホーム
0120(058)211

10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月
実演手打ちうどん (7・14)	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	作品展示会(鍋料理)	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	作品展示会(鍋料理)	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	クリスマス会兼お誕生日会 やすらぎの園サービスセンター	保育者懇談会(14)	保育者懇談会(14)	保育者懇談会(14)
特別献立	やすらぎの園	作品展示会(18)	やすらぎの園	作品展示会(18)	やすらぎの園	やすらぎの園	やすらぎの園	やすらぎの園	やすらぎの園	やすらぎの園	やすらぎの園
大掃除・忘年会	大家族懇談会	けやきの郷	大家族懇談会	けやきの郷	大家族懇談会	けやきの郷	大家族懇談会	けやきの郷	大家族懇談会	けやきの郷	大家族懇談会
けやきの郷	二泊旅行	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会	入所家族懇談会
入所家族懇談会	南台病院	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会	ボランティア懇談会
ボランティア懇談会	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月
10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月	10月◆	12月	11月

南台病院診療科目一覧表	
内科	月から土の午前・午後
消化器内科	月から金の午前・午後
循環器内科	月から金の午前・月水土の午後
神経内科	火木金の午前・月水土の午後
整形外科	火木金の午前
神経科	木金の午前・午後(予約)
リハビリ科	木金の午前・午後(予約)
皮膚科	月から金の午前
歯科	月末の午前・午後(予約)・土の午後

- 一 利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。
- 二 保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。
- 三 地域と協働し、広く社会に貢献します。
- 四 常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。
- 五 福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。

### 黎明会の運営理念

#### — 五つの目標 —

● 黎明会が運営している施設・病院 ●

〒187-0032 東京都小平市小川町一一四八五  
△ 本部 □ 042(346)6611

△ 黎明寮(救護施設) □ 042(341)4711

△ 澄水園(知的障害者援護施設) □ 042(346)7411

△ あかつき(救護施設) □ 042(341)0336

△ やすらぎの園(特別養護老人ホーム) □ 042(345)0617

△ やすらぎの園(介護老人保健施設) □ 042(345)5321

△ やすらぎの園(総合給食施設) □ 042(345)0533

△ やすらぎの園(指定居宅介護支援事業所) □ 042(345)2321

△ やすらぎの郷(小平市地域包括支援センター) □ 042(345)5343

△ やすらぎの郷(介護老人保健施設) □ 042(345)7111

△ やすらぎの郷(訪問看護ステーション) □ 042(341)8880

△ 南台病院(診療施設) □ 042(341)7111

△ おがわ訪問看護ステーション □ 042(313)5262

△ みなみだい訪問看護ステーション □ 042(341)5343

△ おがわ訪問看護ステーション □ 042(341)5711

△ 来都郡小平市小川町一二二八一山ハイツ〇五 □ 042(341)8880

△ 来都郡小平市大沼町一一八八四一二 □ 042(341)5711

△ のぞみ作業所(知的障害者授産施設) □ 042(341)2322

△ ケアホームやまびこ □ 042(341)5656

△ 静岡県熱海市西熱海町一一二四一 □ 042(341)5656

△ 热海ゆとりあの郷診療所 □ 042(341)5215

△ 热海ゆとりあの郷診療所 □ 042(341)5215